



発行 今井町並み保存会  
 発行日 令和3年2月1日  
 電話 0744-22-1128  
<http://www3.kcn.ne.jp/~imaicho/>  
 e-mail imaicho@m3.kcn.ne.jp  
 ◇ご意見・ご感想は  
 今井まちづくりセンターまで

### 大和郡山市の今井町

なぜ、大和郡山市に今井町があるのか、  
 ご存じでしょうか。まずは郡山城の歴史  
 から見ていきましょう。

天正八年、本願寺合戦の終着とともに、  
 信長は一国一城の方針を決め、大和は郡  
 山城を残し、すべての城郭が破棄される  
 ことになりました。筒井順慶は筒井城か  
 ら郡山城に移ります。しかし城づくりは  
 あまり進みませんでした。

そのような中、天正十年六月二日、明智  
 光秀が本能寺で謀反を起こします。五日



筒井順慶 (伝香寺蔵)

には、郡山城の筒  
 井順慶のもとに光  
 秀の使者、藤田伝  
 五が訪れ、出陣す  
 るよう促します。

講談などではこ  
 のあと、岡山の高  
 松城から引き返し

てきた豊臣秀吉軍と光秀軍が激突した山  
 崎の地の南側の洞ヶ峠に順慶が陣取り、  
 戦況を伺い光秀の敗戦が濃厚になったと  
 ころで秀吉軍に加担したという話が語ら  
 れますが、実際は郡山城を出ていません。

六月十三日に山崎の合戦で光秀が敗戦  
 したのち順慶は十五日に醍醐で秀吉に謁  
 見しますが、その日和見の態度を秀吉  
 に叱責されたことから洞ヶ峠のような話  
 ができたのかもしれませんが。その後、順慶  
 は天正十二年、三十六歳でこの世を去り  
 ます。

天正十三年、秀吉の命を受け、順慶の甥  
 の筒井定次が大和から伊賀に転封される  
 と、代わりに秀吉の弟の秀長が郡山城に  
 入りました。ここから郡山城の築城は一  
 気に進みます。石垣の石が足りなくなれ  
 ば、寺院の礎石、五輪塔、石地藏まで使わ  
 れました。

天正十三年十月、秀長は大和における  
 商売はすべて郡山で行うこととし、その  
 他の場所での商いを禁じました。さらに、



豊臣秀長 (春岳院蔵)

堺、今井、奈良より  
 主要な商売人を招  
 き、城下町の一面を  
 与えました。そのと  
 きにできたのが郡  
 山の今井町です。寛  
 政年間には家数七  
 十三軒を数えまし

た。

現在は大和郡山市役所の南側を東西に  
 細長く広がっています。

秀長は「箱本(はこもと)十三町」制度

を敷き、



今井町になぜか、大和郡山市の  
 マンホールがあります。  
 詳細は次号にて。

- 本町(鍛
- 冶町)・魚
- 塩町・堺
- 町・柳町・
- 今井町・
- 錦町・蘭
- 町・奈良
- 町・雑穀
- 町・茶町・
- 材木町・
- 紺屋町・

豆腐町の租税を免除するとともに町内の  
 自治に当たらせました。自治は一か月の  
 当番制になっており、当番の町は特許状  
 の入った朱印箱を会所に置き、表に「箱本」  
 と染めた旗を立てました。

その目的は

1. 興福寺など寺社勢力の弱体化

2. 郡山城下繁栄政策

にありました。橿原の今井町もそうです  
 が、中世から近世へと歴史が移る姿を町  
 名や町並みで体現できる町は少なく、貴  
 重な財産だと思えます。



## 第23回「おのりやま歴史フォーラム

奈良県内の町家や古い町並みを積極的に観光資源や商業施設、あるいは住宅として活用している地域の方々が集い、具体的な活用事例や、そこで生じる様々な問題を発表します。

「町家礼讃」

—古民家及び歴史的町並みの

保存と活用を巡って—

日時 令和3年2月20日(土)

13時～16時30分

会場 DMG MORI

やまと郡山城ホール 小ホール

講演

「郡山城下町」徳本雅代氏

「今井寺内町」若林稔氏

「松山城下町」柳澤一宏氏

討論「古民家及び町並みの保存と活用」

コーディネーター 山川均氏

※申込不要・入場無料(先着150名)



今井町で見つけた柗鰯(ひいらぎいわし)



### 今井の節分行事

今年の節分は2月2日。節分は立春の前日を指していましたが、今年は立春が暦のずれで2月3日になるそうです。じつに124年ぶりということなのです。

『今井町史』によると「大豆をいって柗に入れ神棚へ供えてから撒くことも昔からおこなわれ、お宮では厄年の者のお祓がおこなわれ、近村からも厄払いがやって来たものである。またこの日、オノメツキにイワシの頭をさして門口に立てる男児は鬼の面、女兒はお多福の面をつけて屋敷から出歩く」と書かれています。

我が家では自分の数え年の分の豆を半紙に包んで、お宮さんにお供えています。

また町史に出てくるオノメツキは柗(ヒイラギ)の別称で葉のトゲが鬼の目

を突くというところから名づけられています。

イワシの頭は、そのにおいを鬼が嫌ったというほか、イワシを焼いた煙を嫌ったことから、ヒイラギと一緒に玄関に飾るようになったと考えられています。

昔の人は疫病や天災などの災いなどは目に見えない鬼が原因だと考えており、なんとかかして鬼を追い払ってやろうと色々考え、今の節分の行事になったのでしよう。

この柗鰯(ひいらぎいわし)は一年中魔除けとして玄関に飾っている町家もあり、今井町内を回って探してみたいかがでしようか。

### 今井町紹介 旅の手帖 3月号

2月10日発売の「旅の手帖」3月号(交通新聞社発行)で今井町が紹介されます。

端壮薬品さんの「おにのみこーら」も今井町のおみやげとして紹介されるそうです。

### 編集後記

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が日本でも始まります。早くこの災厄が鎮まることを祈っています。